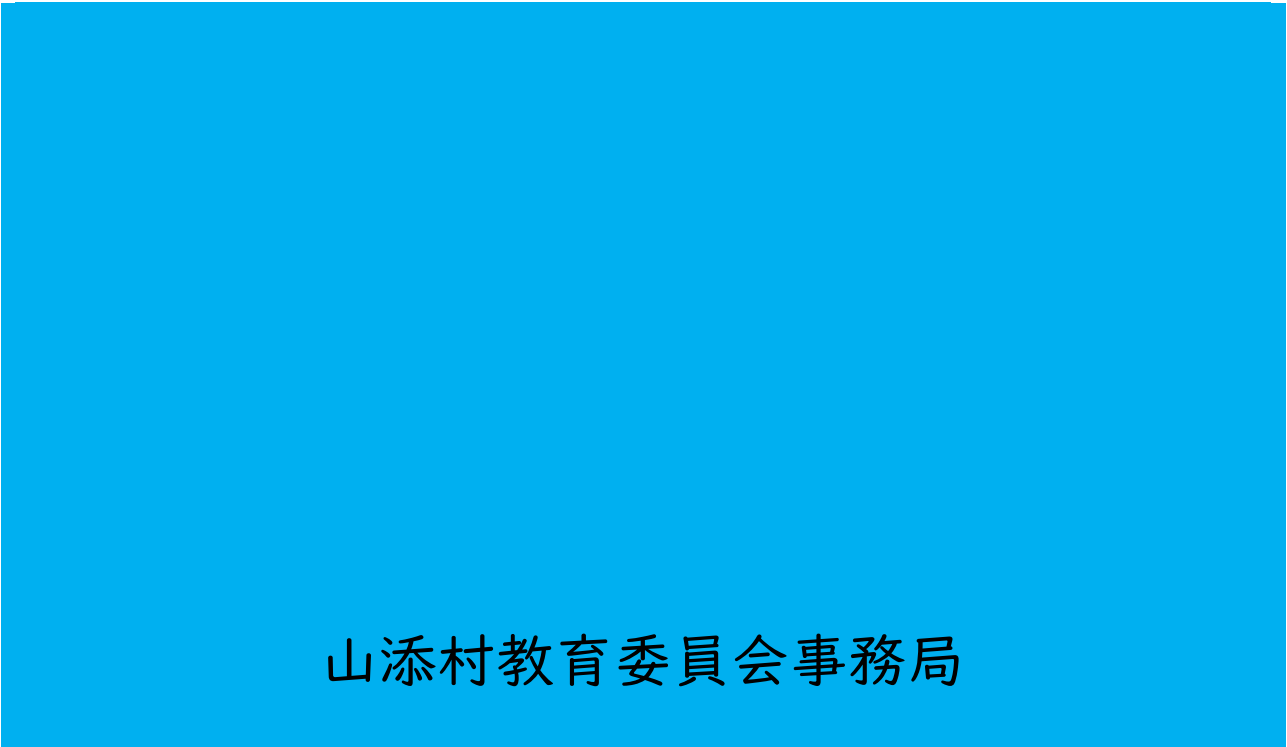




山添村

義務教育学校設立推進基本計画に係る説明会

配布資料



山添村教育委員会事務局

山添村義務教育学校設立推進基本計画に係る説明会

令和6年6月19日(水)
令和6年6月20日(木)
山添村立山添中学校
ランチルーム

【 次 第 】

- 1 開 会 (19:00~19:10)
- 2 行政説明 (19:10~19:40)
- 3 休 憩 (19:40~19:50)
- 4 質疑応答 (19:50~20:20)
- 5 閉 会 (20:20~20:30)

やまぞえ小学校と山添中学校は新しい一つの学校になります！
〔令和9年（2027）年4月、現在の中学校敷地内に義務教育学校開校を予定〕

山添村義務教育学校設立推進基本計画説明会 ～義務教育学校ってどんな学校？～



令和6年6月19日（水）
令和6年6月20日（木）
山添村教育委員会



これまでの経過

- 令和3年度 山添村議会「学校の在り方特別委員会」
＊小中一貫教育の早期実現を提言
- 令和4年度 山添村小中一貫教育検討委員会の設置
＊計5回の会議を経て、2つの答申が示される
 - ・小中一貫教育の実現を目指すこと
 - ・施設一体型の義務教育学校を目指すこと
- 令和5年度 山添村小中一貫教育推進委員会の設置
＊計3回の会議
山添村小中一貫教育推進委員会ワーキンググループの設置
＊計5回の会議
 - ・小中一貫教育に関わる具体的な内容についてワーキンググループで話し合い、推進委員会で協議



山添村義務教育学校設立推進基本計画を作成
山添村義務教育学校ランドデザインを作成

基本方針

(1) 本村の学校教育の目標

一人ひとりの個性を大切にし、
心身ともにたくましい「生きる力」を持った
『輝く子どもたち』の育成

基礎的な知識・技能を習得し、
思考力・判断力・表現力を培う

『知』

(確かな学力)

『徳』

(豊かな人間性)

『体』

(健康・体力)

自尊心、協調性や他人を
思いやる心や感動する心など

たくましく生きるための
健康や体力

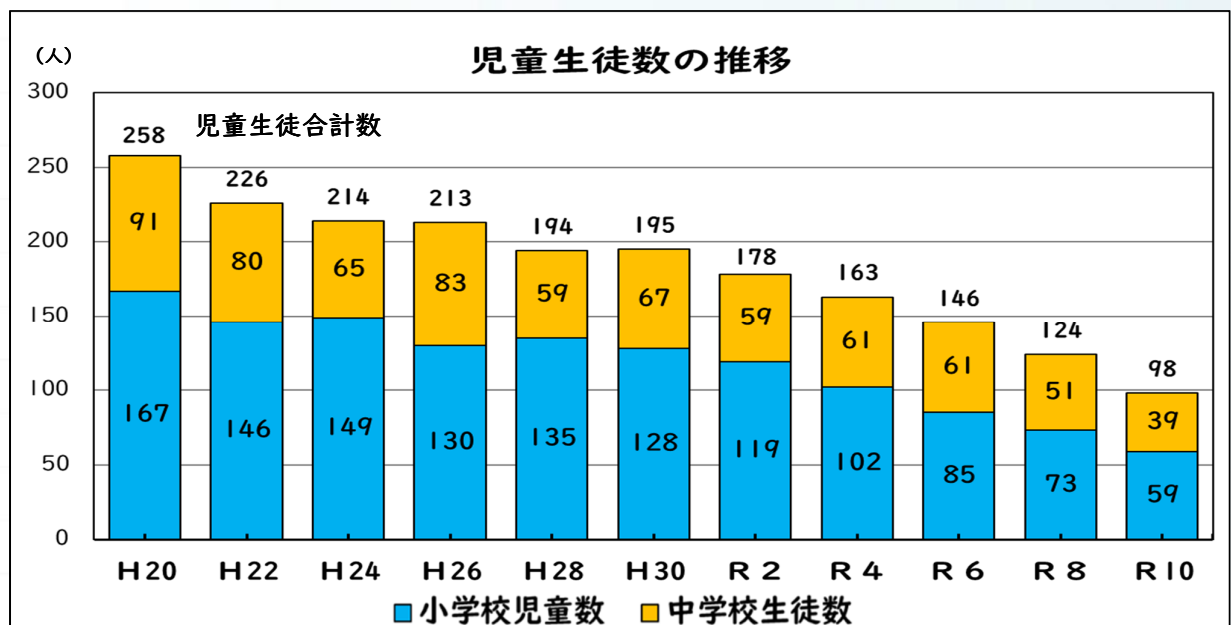
基本方針

(2) 本村の状況

* R 4までは学校基本調査による

* R 6は4月1日現在の児童生徒数

* R 8及びR10は令和6年4月1日現在の年齢を学齢期に
達した数としている



※本村の児童生徒数は、今後も減少し続けることが予想されます。

基本方針

＊小中一貫教育…９年間を通じた系統的な教育

(３) ９年間を通じた系統的な教育によって目指す子ども像

自分のいる世の中をよりよくできる子ども

【キーワード】

「へこたれない」「しなやかさ」「社会をよりよく」

◎自分のいる世の中をよりよくできる子どもとは？

- 自分をもっている子ども
- 「知りたい」というアンテナを常にもっている子ども
- 自分の思いを表現できる子ども
- 他者を思いやることができる子ども
- 「とりあえず、やってみる!」ができる子ども
- コミュニケーションがしっかりとれる子ども
- 自分を大切にできる子ども
- 多様性を認められる子ども
- 自分から情報を取り入れていける子ども
- 自分のことを理解できる子ども
- 平均にプラスワンできる子ども
- 課題を見出せる子ども
- 考えを言葉にできる子ども

～ワーキンググループでの熟議より～

◎山添村の子どもたちの強みや弱みは？（山添村の子どもたちの現状）

- ①素直で人懐っこく真面目な子どもたち
- ②先生の指示に対してコツコツがんばろうとする子どもたち
- ③固定化されやすい人間関係がゆえに変化したくても変化できない子どもたち
- ④都市部では当たり前を経験することが当たり前ではない環境にある子どもたち
- ⑤学校内(学校教育)だけでは「子どもの育ちに必要な条件(豊かな経験、社会とのつながり)」が担保できない状態にある子どもたち

～ワーキンググループでの熟議より～

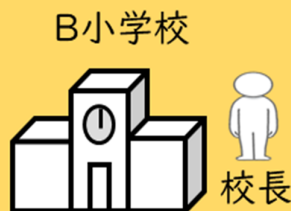
基本方針

(４) 本村が目指す学校の形態

小中一貫型小学校・中学校

組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を行う形態

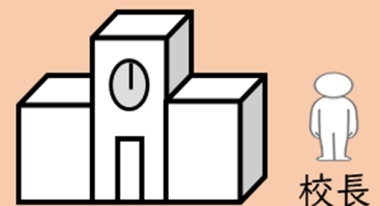
⇒それぞれの学校に校長、教職員組織



義務教育学校

新たな学校種（一つの学校）

⇒一人の校長、一つの教職員組織

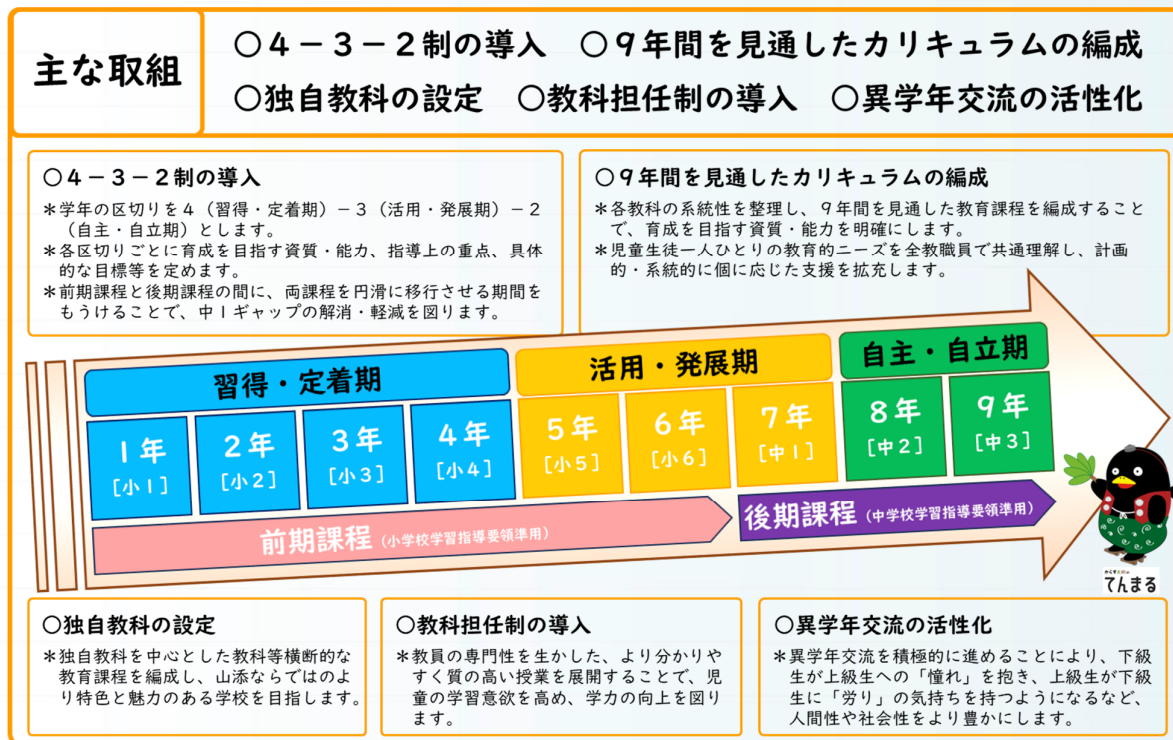


※「義務教育学校」による９年間を通じた系統的な教育（小中一貫教育）を目指します。

※現在の中学校の敷地内に施設一体型の「義務教育学校」を開校します。

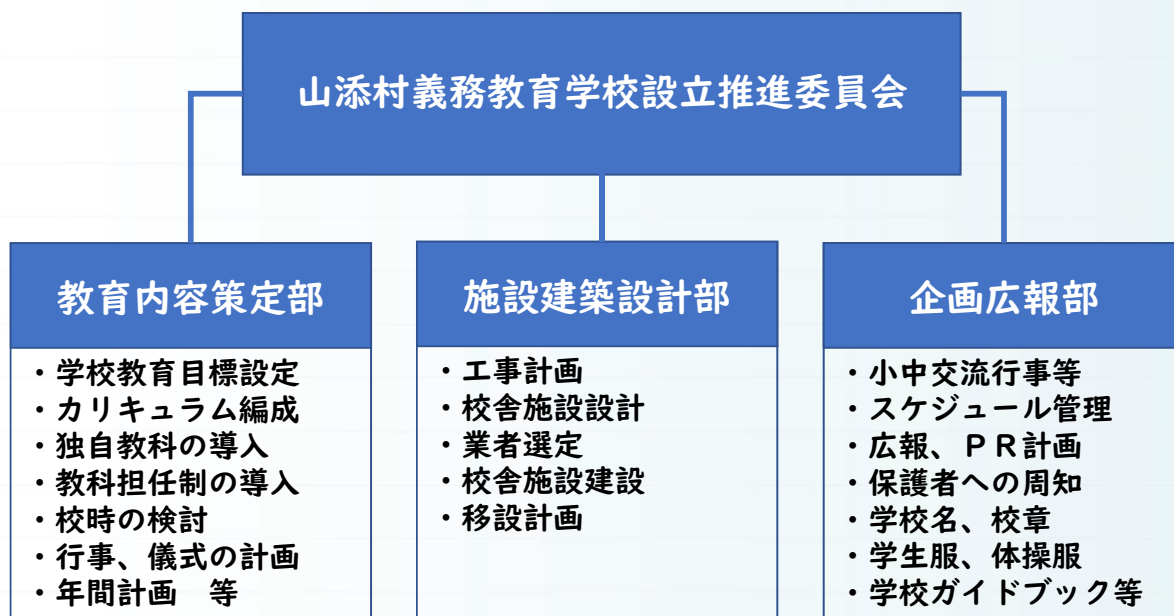
基本方針

(5) 義務教育学校における主な取組



今後のスケジュール

《今後の推進体制》



※義務教育学校開校を更に意識して検討が進められるようにします。

「山添村小中一貫教育推進委員会」→「山添村義務教育学校設立推進委員会」

今後のスケジュール

《今後のスケジュール》

	教育内容	施設建築	企画広報
令和6年度	○9年間を見通したカリキュラムの検討 ○具体的な取組について検討 ・独自教科 ・教科担任制	○基本設計の作成 ○施設設計予算の計上	○校名の検討、決定※ ○制服・体操服等、校章・校旗、校歌の検討（アンケートの実施等） ○広報（保護者、住民への説明）
教科担任制 一部先行実施			
令和7年度	○具体的な取組について検討 ・独自教科 ・教科担任制 ○教育課程の検討 ・学校教育目標 ・各種教育計画 ・年間行事計画 ・校時 等	○施設設計の作成 ○移設計画の作成	○制服・体操服等、校章・校旗、校歌の決定※ ○学校ガイドブックの内容検討 ○広報（保護者、住民への説明）
独自教科 先行実施			
令和8年度	○校内体制の検討、決定 ○各種校務分掌の内容検討	○施設工事実施 ○新校舎使用開始	○学校ガイドブック作成 ○広報（保護者、住民への説明）

Q & A アラカルト

〈Q 1〉

- 義務教育学校という言葉をはじめて聞きますが？

〈A 1〉

⇒ 平成28年の学校教育法の改正により新たに創設された学校制度です。義務教育課程である小学校から中学校までの9年間を一貫して学びます。

奈良県内には9校あります。（令和6年4月1日現在）

【県内9校】

- | | |
|-------------|-------------|
| ① 曾爾小中学校 | ② 王寺北義務教育学校 |
| ③ 王寺南義務教育学校 | ④ 下市あきつ学園 |
| ⑤ 天川小中学校 | ⑥ 野迫川小中学校 |
| ⑦ 下北山小中学校 | ⑧ 上北山やまゆり学園 |
| ⑨ かわかみ源流学園 | |

Q & A アラカルト

〈Q 2〉

- 義務教育学校にはどのような「強み」がありますか？

〈A 2〉

- ⇒ ①小学校から中学校へのスムーズな移行ができます。
②9年間を見通した特色ある教育を実施できます。
③地域の特性に合わせた教育を充実させることができます。
④小・中学校の教職員が一体となって教育活動に取り組むことで、多様な個性に対して、早期にきめ細やかな対応・支援が可能となります。
⑤児童生徒数が減少の中でも、学年を越えた集団での「豊かな」学びが実現できます。
⑥小学校高学年における教科担任制の導入により、学力や学習意欲の向上が期待できます。

Q & A アラカルト

〈Q 3〉

- 義務教育学校にはどのような「弱み」がありますか？

〈A 3〉

- ⇒ ①小学校卒業の達成感がない。
→前期課程修了式等の工夫する。
②リーダーシップを発揮する機会の減少
→各学年段階の区切りにおいて行事等を工夫する。
③9年間の人間関係の固定化
→縦割り班活動や地域住民との交流を工夫する。
④従来の学校との整合性や互換性
→前期課程は小学校学習指導要領を準用、後期課程は中学校学習指導要領を準用する。

※先進校においても、様々な工夫で「弱み」を克服されています。

Q & A アラカルト

〈Q 4〉

○ 転入者や転出者が発生しても大丈夫ですか？

〈A 4〉

⇒ A 3の④にもあるように、全国共通の学習指導要領に準じているため、基本的には学習内容や進み具合は共通しています。

〈Q 5〉

○ 山添村立山添こども園との連携はどうなりますか？

〈A 5〉

⇒ 義務教育学校とこども園との連携をより一層強化し、子どもの学びの連続性を確保していくことが重要と考え、子どもたちが定期的に相互交流できるよう連携を促進していきます。

教職員・保護者・地域住民等
多様な人々の知恵とアイデアで
子どもたちが本来必要としている



「豊かな経験」と
「社会とのつながり」を
共に支えていくため、



皆様のご協力をお願いします。

